

## はじめに

この小冊子は、昨年度に発足した富山大学地域生活学研究会が、平成 22 年度の富山大学学長裁量経費を受けて実施した研究プロジェクト『「地域生活学」の研究拠点形成－文化・自然・社会の諸環境における地域の「暮らし」の活性化』の報告書で、同時に研究会誌としての『地域生活学研究』の第 2 巻となります。

明治に来日したアルピニスト、ウォルター・ウェストンは、富山を「三方を山々に囲まれた自然の壮麗な円形劇場」と表現しました。富山の多様な環境に営まれている生活のあり方もまた多彩です。私たちは「生活者」の視点に立ちつつ、多様性の「円形劇場」の地から発信する地域の学を、さまざまな社会経済的問題、あるいは文化的課題について、従来の学問の枠組みにとらわれない多面的で柔軟な理解を進める知の枠組みとして育てていきたいと考えています。

いまだ総花的な報告集ではありますが、報告のなかに「円形劇場」から発信するさまざまな可能性を見いだしていただけただけなら、これにまさる喜びはありません。

2011 年 3 月

研究会代表

富山大学人文学部 竹内潔